

井上明夫新聞 ～日田市議会だより～

秋になり過ごしやすい季節になりましたが、今年は7月の豪雨災害により、自然の猛威の前に人間の力がいかに小さなものか思い知らされました。

大自然に対する畏敬の念を再認識するとともに、収穫の秋を迎え、自然の恩恵にも感謝したいと思います。

また、災害復興に関しては農地や公共土木施設に対する激甚災害の指定はなされたものの、復旧作業はまだまだこれからで、各地に多くの災害の爪痕が残されています。

1日も早い復旧と今後の対策のために議会と行政が一体となって頑張っていきます！



9月議会(平成24年度第2回定例会)の結果

災害復旧関連中心の31億円の補正予算案などを可決!!

9月議会は5日開会～25日閉会の日程で開催され、災害復旧関連の約25億円を含む約31億3500万円の補正予算案など12議案と請願1件・意見書案2件が可決されました。この結果、日田市の年間予算の総額は433億6900万円となり、初めて400億円を超えました。

災害復旧関連の事業費のうちの80%は国庫からの補助を見込んでいますが、市の財政にとっては厳しいものとなります。

災害復旧事業を通じて国や県から入ってくるお金が日田市内で消費され、少しでも経済活性化につながることを望むところです。

補正予算で執行される主な事業内容は以下のとおりです。

- * 農地および農業用施設災害復旧事業 12億2,600万円
→ 農地および農業用施設災害の査定設計委託料及び本格普及工事費の増額補正
- * 公共土木施設災害復旧事業 11億3,000万円
→ 道路・河川災害の本格普及に伴う工事費の増額補正
- * 林地及び林業用施設災害復旧事業 1億4,355万円
→ 林業用施設災害の本格復旧に伴う工事費及び補助金の増額補正
- * 市営急傾斜地崩壊対策事業 7,580万円
→ 急傾斜地の崩壊防止対策箇所の追加に要する費用の増額補正
- * 国民健康保険事業(繰出金) 1億3,074万円
→ 国民健康保険税の税率を据え置いたことに伴い不足する財源の補填等
- * 小中学校の教育環境の整備関連の事業 1億4,260万円
→ プールの建設・スクールバスの購入・空調機器の設置等

プレミアム付き災害復興支援商品券の発行も決定！！

* プレミアム付き災害復興支援商品券発行特別支援事業 5, 250万円

→ 九州北部豪雨等の災害により景気の沈滞ムードが漂い、市内事業者のさらなる減収が懸念される中、消費の潜在需要を呼び起こすとともに、消費の市外への流出を抑制することによって災害復興への一助となるよう、商品券の発行を行う経済団体に対し助成する

[発売時期] 第1回・平成24年11月3日より6万冊（1冊5,000円）を販売
第2回・平成24年12月1日より4万冊を販売

[発売場所] 日田商工会議所・日田地区商工会・日田駅前通り商店街事務所(サンリブ裏)
※11月3日午前10時から正午までに限りパトリア日田前で販売

日田玖珠広域消防本部及び日田消防署が移転を計画

日田玖珠広域消防組合は、現在、市内大字十二町（国道386号線沿い）にある日田玖珠広域消防本部（日田消防署）の移転を検討していましたが、9月議会中の議員全員協議会において計画の概要を発表しました。

移転の理由は、

- (1) 建設から約40年が経過し老朽化している。
 - (2) 平成28年度から全国一律に運用が始まる消防デジタル無線施設を現庁舎に設置してから新築移転すると経費がかさむ。
 - (3) 現庁舎前の国道386号はラッシュ時に混雑し、出勤しにくい。
 - (4) 建て替えの期間中も現在の施設を使いながら、移転先に新築できる。
- などです。

今回計画されている建設用地は日田市土地開発公社の所有する、市内大字渡里（日田インターチェンジ横）にある面積7,570平方メートル（約2,272坪）の土地。

現在の日田消防署の敷地面積は3,376平方メートルなので2倍近くの面積になります。ちなみに佐伯広域消防本部（佐伯消防署）の敷地面積は約7,800平方メートルです。

今後は平成24年度中に建設予定地の周辺地区を対象とした住民説明会・平成25年度当初予算の計上を目指し、平成26年度～平成27年度にかけて建設、平成28年度からのオープンを目標としています。

日田玖珠地域の住民の安心安全の拠点として、最新設備の日田玖珠消防本部ができあがることを期待します。

☆☆

★インターネットの検索エンジンで「井上明夫」で検索すれば、ホームページやブログのサイトを見ることができます。

携帯からも→



[連絡先] 井上明夫 TEL.0973-28-2750／携帯 090-87666807